

## 介護・福祉職員の人材確保に関するアンケート

### 1. 趣 旨

本年度、福岡県老人福祉施設協議会は基本方針のひとつに「介護人材の確保」を掲げました。それを受けて制度施策委員会・ワーキングチームでは取り組むべき重点事項として、介護人材確保への対応を検討するため、「採用」「育成」「定着」の一連の流れをアンケートにより検証することにしました。

例えば、「採用」においてはどのような有効な求人方法があるのか、求職者から見たらどのような方法で求人情報を得ているのか等の調査を行い、より有効な求人のあり方を検証します。

「育成」では各事業所が取り組んでいる職員の育成状況や介護職員からみた事業所のキャリアパスのあり方等を明確にし、これらの実践が「離職・定着」にどのように関わっているかを検証します。

「定着」については、各事業所の定着率や定着に向けての取り組みを中心に調査をし、また、介護職員には定着につながる生の声を記載してもらい、様々な角度から総合的に「定着」に向けてやるべき課題を明確にしたいと思います。

そして、「採用」「育成」「定着」それぞれのパートで明らかになったことをつなぎ合わせ、俯瞰することで、人材確保への取り組みについて様々な有効手段を明らかにしていきます。

このアンケートは、上記したような検証結果を会員施設に紹介し、会員間で共有することにより、今まで以上に幅広い視点で介護職員の確保への取り組みが可能になるために実施いたします。

### 2. 実施目的

- ・介護・福祉職員の人材確保に向けて、「採用」「育成」「定着」という一連の流れで調査を行い、人材確保に有効な手段を確立するために実施する。

### 3. 実施方法

- ・事業所用(1 1月実施)と介護職員用(1 2月実施)の2種類で調査を行う。
- ・事業用は質問紙によるFAX回答とインターネットのアンケートサイトを活用する。
- ・介護職員用はインターネットのアンケートサイトを活用する。

### 4. 調査対象施設

- ・福岡県下(福岡県老人福祉施設協議会、北九州高齢者福祉事業協会)の会員施設の特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、グループホームを対象とする

## 介護・福祉職員の人材確保に関わるアンケート －採用・育成・定着の視点から－

[法人・事業所用]

### 1. アンケートについて

- このアンケートは紙ベースの質問紙(FAX回答)とインターネットのアンケートサイトを  
利用して回答する**2部構成**になっています。
- 質問数が多いことと質問の内容の性格上、どちらか1つの回答方法だとどうしても回答が  
難しいものがあり2つに分けることにさせていただきました。
- 回答する順番は質問紙、アンケートサイト、どちらからでも結構ですが、質問紙への回答  
に時間を要すると思いますので、最初は質問紙からの回答がおすすめです。
- 質問紙で回答していただいた分につきましては、下記宛にFAXしていただくようお願い  
いたします。

### 2. アンケートサイトへのアクセスについて

- <https://questant.jp/q/jigyousyor1> にアクセスいただきご回答ください。
- もしくは添付しています別紙QRコードからもアクセス可能ですのでスマートフォンでの  
回答も可能です。

### 3. FAX送信について

- 送信先 福岡県社会福祉協議会 092-584-3381
- 問い合わせ 福岡県社会福祉協議会 施設課 田中 092-584-3377

### 4. アンケートの締め切り

- 質問紙並びにアンケートサイトでの回答、どちらも**11月30日**までをお願いします。

#### [アンケートの回答上のお願い]

- ※このアンケートの「非正規職員」とは、嘱託職員、パート職員、派遣職員、  
その他、正規職員以外の有期契約の職員を指します。
- ※質問紙の質問はQ1～Q11まであります。Q3に採用状況、Q6から離職者  
状況、Q10に定着への取り組みという並びになっていますのでご注意ください。
- ※アンケートの「過去2年間」は、29年度、30年度の2年間です。
- ※アンケートの「現在」という表記は、令和元年9月30日を指します。
- ※「シニア雇用についての質問」のシニアとは概ね65歳以上で定年延長や継続  
雇用の方々は含みません。

[質問紙版アンケート] 「FAX 送信用」

◎基本情報

Q1 事業所名をご記入ください。

事業所名(施設名) \_\_\_\_\_

Q2 介護職員の「正規・非正規」、「年齢別」、「資格別」の状況をお尋ねします。

(令和元年9月30日現在でお願いします)

※ 資格について複数お持ちの方は上位資格を優先してください。

※ ショートステイの介護職員も含めてください。

		総 数	左記総数内訳（資格）			
			介護福祉士	実務者研修 修了	ヘルパー1・2級 初任者研修 基礎研修	無資格
10代	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名
20代	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名
30代	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名
40代	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名
50代	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名
60代	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名
70代	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名
80代	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名
合計	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名

◎採用状況

Q3 過去2年間(29,30年度)で「採用」された介護職員の「正規・非正規」、「年齢別」、「資格別」の状況をお尋ねします。

※「Q6からQ9」は介護職員の離職者数をベースにした質問ですので、あらかじめ質問内容をご確認していただくようお願いします。

		総 数	左記総数内訳（資格）			
			介護福祉士	実務者研修 修了	ヘルパー1・2級 初任者研修 基礎研修	無資格
10代	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名
20代	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名
30代	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名
40代	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名
50代	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名
60代	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名
70代	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名
80代	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名
合計	正 規	名	名	名	名	名
	非正規	名	名	名	名	名



Q7 過去2年間(29、30年度)で離職した介護職員の「正規、非正規」、「勤続年数別」「各年度別」についてお尋ねします。

正 規 職 員			非 正 規 職 員		
勤 続 年 数	離職者数		勤 続 年 数	離職者数	
	29年度	30年度		29年度	30年度
1年以内	名	名	1年以内	名	名
2年以内	名	名	2年以内	名	名
3年以内	名	名	3年以内	名	名
3年以上5年以内	名	名	3年以上5年以内	名	名
5年以上7年以内	名	名	5年以上7年以内	名	名
7年以上10年以内	名	名	7年以上10年以内	名	名
10年以上20年以内	名	名	10年以上20年以内	名	名
20年以上	名	名	20年以上	名	名
小 計	名	名	小 計	名	名
合 計	名		合 計	名	
総 合 計	正規離職者数+非正規離職者数				名

Q8 「平成30年度」の正規介護職員の離職率は何パーセントでしたか。

\_\_\_\_\_ %

\* 離職率 = (平成30年度)離職者数 ÷ 平成30年4月1日現在の正規職員数 × 100(%)

Q9 離職した「正規介護職員」の退職理由で多いと思われるものを5つ選んでください。

退職理由	該 当	退職理由	該 当
①職場の人間関係		⑫体力的に限界	
②結婚、出産、妊娠、育児等		⑬精神的に限界	
③理念や運営・組織のあり方に不満		⑭病気・体調不良	
④介護以外の仕事に興味があったから		⑮家族の転勤等	
⑤将来が見込めない		⑯上司・職員のパワハラ、セクハラ	
⑥収入が少ない		⑰利用者・家族のパワハラ、セクハラ	
⑦新しい資格をとったから		⑱職員間のいじめや差別	
⑧他の介護事業所に転職したかったから		⑲事業不振、人員整理等	
⑨社会的評価が低い仕事だから		⑳休暇が取りづらいから	
⑩自分に向かなかったから		㉑定年、雇用契約満了	
⑪家族介護のため		㉒その他 ( )	

(明確な退職理由の把握は困難ですのでわかる範囲で結構です。また主観でも結構です)

## ◎定着への取り組み

Q10 職員の定着に向けての取り組みについてお尋ねします。以下のような取り組みをされている場合は、該当欄に○をお付け下さい。

定着への取組み事項	該 当
<b>1. ワークライフバランス等</b>	
①連休が取れるように勤務体制を整えている	
②希望休や有休がとれるように勤務体制を配慮している	
③残業を無くして定時に帰れるように努力している	
④職員の家族も参加できるような福利厚生プログラムがある	
⑤子育てや家庭介護の支援を行っている	
⑥職員のメンタルヘルス、健康への気配りを定期的に行っている	
<b>2. キャリアアップ関係</b>	
⑦職員個々の希望に沿った研修等が受けられるような工夫をしている	
⑧職員の個人面談を定期的に行っている	
⑨資格取得に向けてのサポート体制を整備している	
⑩キャリアアップ・スキルアップの研修体制を整備している	
<b>3. 職場・労働環境等</b>	
⑪定年の年齢を引き上げた	
⑫定年制度を廃止した	
⑬定年後の継続雇用の待遇を改善した	
⑭職員に何か悩みがある場合の相談窓口や担当者を配置している	
⑮年齢・体調等を考慮した勤務表を作成している(夜勤回数の制限等)	
⑯職員の精神的負担軽減のためにクレーム対応のための窓口を決めている	
⑰介護職員の負担軽減のため、介護補助や介護職員のフォローを行うパート職員等をこれまで以上に採用している	
⑱介護負担の軽減のためロボットやICTの導入を行っている	
⑲福利厚生等で職場内交流を深めている	
⑳福利厚生委託サービス(ソウェルクラブ等)に加入している	
㉑腰痛予防などの健康面への取り組みを行っている	
<b>4. 賃金・手当関係</b>	
㉒定期的に基本給の引き上げを行っている	
㉓退職手当共済制度に加入している	
㉔過去3年間で定期的以外、昇格・昇給以外の基本給の引き上げを行った	
㉕能力や仕事ぶりに応じた評価を行い賃金に反映している	

②⑥勤務年数に応じた評価を行い賃金に反映している	
②⑦過去3年間で役職手当の導入や引き上げを行った	
②⑧過去3年間で夜勤手当の引き上げを行った	
②⑨過去3年間で通勤手当の導入や引き上げを行った	
③⑩過去3年間で資格手当の導入や引き上げを行った	
③⑪過去3年間で賞与の支給率を引き上げた	
③⑫その他 ( )	

Q10-1 Q10 であげた①～⑫は定着に向けた取り組みですが、この中で特に効果が大きかったもの、もしくは力を入れている取り組みの上位5つの番号をお書きください。  
1位( ) 2位( ) 3位( ) 4位( ) 5位( )

Q11 貴事業所の「正規職員」の労働時間・休日・有休についてお尋ねします。

実労働時間	1日	時間	1週	時間
年間休日数(有休は除く)				日
有休取得率(H.30年度)				%

※質問紙でのアンケートはこれで終了です。

大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

回答していただいたアンケートにつきましては、下記宛までFAX送信をお願いします。

福岡県社会福祉協議会 FAX番号 092-584-3381

\*引き続きアンケートサイトにアクセスしていただきアンケートの回答をお願いします。

URL <https://questant.jp/q/jigyousyor1>